

事業番号	08 02 04	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	夢をかなえる信州農業6次産業化推進事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト	・2-3-2 農山村産業クラスター形成プロジェクト		課・室	農業政策課農産物マーケティング室		
	施策の総合的展開	1-03 夢に挑戦する農業		E-mail	marketing@pref.nagano.lg.jp		
		3 信州ブランドの確立とマーケットの創出		実施期間	H24 ~		

1 事業の概要

目指す姿	異業種の連携により、資源が地域内で循環する6次産業化が県下各地で創出される。新たな雇用の創出につながる6次産業化に取り組む事業体を育成。		
現状（予算編成時）	事業規模は小さくても、本県の地域性を活かした意欲ある元気な6次産業事業体が多数存在している。地域窓口（地域協議会）を設置し、気軽に相談できるきめ細かい体制を整備。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】	
	県民との協働による実施： 実施中	6次産業化ネットワーク活動交付金交付要綱 国庫補助を有効活用しながら県と協議会との協働により実施することが効果的であるため。	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	平成26年度 総合化事業計画認定件数(累計) 90件 平成29年度 総合化事業計画認定件数(累計) 120件					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
	情報共有・人材育成	交付金補助金	・6次産業化を仕掛ける人材の育成研修会を開催 ・法人化研修会、出張推進会、事例報告会の開催等 (事業主体: 県協議会、定額)	3,590	886	2,206
	6次産業化ネットワーク形成	補助金	・6次産業化意向調査とマッチング交流会の開催 ・研究機関による技術支援、6次産業化ウェブサイトの運用 (事業主体: 県協議会、定額)	3,135	624	415
サポート活動	交付金補助金	・相談窓口とプランナー派遣によるアドバイス ・推進員による計画策定支援 (事業主体: 県協議会、定額)	34,275	15,005	16,432	
産業と連携する取組への支援	交付金補助金	・総合化計画に基づく施設等の整備を支援 ・新商品の試作や販路開拓の経費を支援 (事業主体: 六次産業化法認定事業者、補助率1/2又は2/3以内)	415,150	233,228	206,075	
合計			456,150	249,743	225,128	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	1,140	4,302	456,150	225,128
	補正予算		23,359	-185,485	
	合計(A)	1,140	27,661	270,665	225,128
	一般財源	194	608	0	0
	県債				
	国庫支出金		26,941	270,665	225,128
	その他	946	112	0	0
	決算額(B)	1,140	21,703	249,743	
概算人員数(人)	0.60	0.80	0.80	0.80	
概算人員費(C)	4,955	6,606	6,606	6,606	
概算事業費(B(A)+C)	6,095	28,309	256,349	231,734	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27
		目標	成果	達成状況	目標
計画認定件数(累計)	80件	90件	91件	達成	94件
企画リーダー研修修了生	—	—	—	—	20名

目標に対する成果の状況	6次産業化を目指す事業者に対し、信州6次産業化推進協議会がプランナーを派遣するなど、一貫したサポート活動により事業化を支援したことから、総合化事業計画の認定件数が91件(全国第3位)に増加し、目標を達成した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	今後も信州6次産業化推進協議会や関係機関・県現地機関との連携により、総合化事業計画認定へ向けた支援と、認定済み事業者へのフォローアップ支援を積極的に行ない、6次産業化の推進を図っていく。